

評価細目の第三者評価結果 (保育所、地域型保育事業)

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果	コメント
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	保育理念・保育方針・保育目標はパンフレット・入園のしおりへの掲載、園内への掲示を通して周知に努めている。開園より多様な経験を持つ職員をまとめ、一つの方向に導いている。

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果	コメント
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	市内市立保育園協会に参加しており、行政からの情報収集、研修参加等を通して環境の把握に努めている。法人事務局と連携し、地域や業界の動向の把握に取り組んでいる。保育指針の改訂にあたっては新指針の配布と園内研修を実施している。
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	安定した人材採用、将来を見渡した財務施策の計画立案を課題として挙げている。開園から3年が経過し、多角的視野を持った運営にあっている。

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	法人グループとして5か年に渡る開園計画が立てられており、収支についても見込まれている。グループ内初の保育事業として今後の事業を牽引する立場にあり、管理職の輩出・運営基盤の形成等大きな期待がかけられている。
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	保育課程、年間指導計画により保育の方向性を定めている。また年度の予算案が組まれており、予算に沿った支出により安定した運営を図っている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	保育課程については、園内研修を通して職員への周知を図っており、わかりやすい言葉を使用するなど理解が深まるよう努めている。先進的な運営と今後の行政施策との合致にこれまで培ってきた保育への自信を深めている。
I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a	保護者会での保育方針・行事予定等の説明を通して園の考えを理解してもらえるよう努めている。「保育の見える化」を謳い、写真付き説明を掲示し、視覚や感覚をもって理念を浸透できるよう取り組んでいる。本事項から「園の運営は保護者の理解なくして有り得ない」という方針と管理職の持つ豊富なアイデアを理解することができる。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果	コメント
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	年間指導計画をはじめとする全ての計画に評価と反省欄が設けられており、次期に繋げる運営が実施されている。

<p>I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</p>	<p>a</p>	<p>目標管理制度をもとに自己評価がなされており、自己のふり返りと保育の質の向上への取り組みがなされている。自己の業務への評価がクラス運営に反映する・結び付けていくことを今後の課題として抽出している。</p>
--	----------	--

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
<p>Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。</p>		
<p>Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。</p>	<p>a</p>	<p>管理規程・重要事項説明書に管理者の職名および氏名を掲載している。また役割分担についても職務の割り振りに留まらず、活動内容・保育へのねらい・職員自己評価とのリンクが意識されている。</p>
<p>Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。</p>	<p>a</p>	<p>コンプライアンスを意識した運営がなされており、採用面接時の説明用資料の作成、各種規程の整備等から理解することができる。今後は虐待防止法や個人情報保護法について研鑽を深めていく意向をもっている。</p>
<p>Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>		
<p>Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。</p>	<p>a</p>	<p>目標管理に基づく自己評価シートは保育の質の向上と利用者本位の支援実践のための項目となっており、評価の実施と管理者との面談により意識をする仕組みが構築されている。</p>
<p>Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。</p>	<p>a</p>	<p>頑張った職員に対してそれに報いられる処遇体系を目指しており、昇給等についても園と法人の方針を実践している。補助金等についても活用し、利用者・職員の福祉に資するよう努めている。</p>

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果	コメント
<p>Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。</p>		
<p>Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p>	<p>a</p>	<p>明確なビジョンの策定・丁寧な運営の実践により職員の定着率の高さを維持している。今後は非常勤職員の処遇について見直しを図る意向を持っている。</p>
<p>Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。</p>	<p>a</p>	<p>目標管理制度に基づく人事考課を実施しており、職員のモチベーションアップ・功労者への褒章など園と法人の方針が反映されている。考課者訓練を通して制度の研磨をしていく意向を持っている。</p>
<p>Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</p>		
<p>Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p>	<p>a</p>	<p>職員が守るべき事項についてはハンドブックに定めており、効率的な業務執行により時間外労働の削減・休憩時間の確保を実現している。また有給休暇については、高い消化率が実現しており、プライベートと業務の双方が充実できるよう職員の生活全体を考慮した運営に努めている。</p>
<p>Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</p>		
<p>Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>目標管理制度では、職員の目指す方向性を考慮して目標が定められており、職員一人ひとりに沿った働き方ができる制度となっている。</p>
<p>Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。</p>	<p>a</p>	<p>外部研修受講の後には、受講職員が講師となり、園内研修を実施している。知識の共有、技術の水平化により園全体の質の向上が図れるよう努めている。</p>

Ⅱ－２－（３）－③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	全職員が年に1回は外部研修を受講できるよう就業への配慮がなされている。今後は法人にて新園の開園が予定されていることから合同での階層別研修など更なる取り組みが期待される。
Ⅱ－２－（４） 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
Ⅱ－２－（４）－① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	次代を担う人材育成として実習生の受入拡大を目指している。正しい知識や正しい体験をしてもらえるよう園側の制度を整備し、実りある実習ができる体制構築に取り組む意向をもっている。

Ⅱ－３ 運営の透明性の確保

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ－３－（１） 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
Ⅱ－３－（１）－① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	ホームページには、誰でも見られるよう財務諸表・現況報告書が公表されている。来年度はホームページのリニューアルを予定しており、更なる情報発信に努める意向を持っている。
Ⅱ－３－（１）－② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	経理規程の設置、専門家による監事の就任等適切な運営に取り組んでいる。法人グループの協力を得ながら適正な会計・取引にあたっている。

Ⅱ－４ 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		
Ⅱ－４－（１）－① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	自治会等との親睦が深められており、ハロウィン等行事を通じて交流が図られている。今後は、未就園児の身体測定や発達相談など地域の子育て支援の充実を目標としている。
Ⅱ－４－（１）－② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	ボランティア受入規程・オリエンテーション用文書の設置により受け入れ体制が整備されている。園を知ってもらう良い機会として、中学生の職場体験等についても協力している。
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ－４－（２）－① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	玄関には行政からの通達や社会資源の利用について掲示し、保護者への周知を図っている。特に卒園児の就学先が多数に渡るため、小学校との連携に注力している。
Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ－４－（３）－① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	b	法人内グループの高齢者施設への慰問など園独自の貢献に取り組んでいる。今後は帰宅困難者の受け入れなどできる支援を検討し、更に進めていく意向を持っている。
Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。	b	市の一時預かり事業を受託しているものの、利用者の拡大には至っていない。法人として公益的事業の受託に対して積極的な姿勢を持っており、地域に資する方針を進めている。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	職員ハンドブックの配布と周知、職員自己評価での倫理の確認など利用者の尊重に対して組織的な対応がなされている。保護者対応については、今後も継続して課題に取り組む意向をもっている。

<p>Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。</p>	<p>a</p>	<p>職員自己評価項目に利用者の権利擁護について設定しており、確認がなされている。また日頃よりカーテンを活用しており、特に着替え・プール活動時は、プライバシーと羞恥心に配慮するよう努めている。</p>
<p>Ⅲ－１－（２） 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p>		
<p>Ⅲ－１－（２）－① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	<p>a</p>	<p>利用希望者に対する見学は日時を設定しており、管理者により対応している。園の理念や概要が記載されたパンフレットを配布し、園内を見学しながら不安や疑問の解消に努めている。</p>
<p>Ⅲ－１－（２）－② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。</p>	<p>a</p>	<p>入園時には全体での説明会を開催し、入園のしおりと重要事項説明書を用いて説明にあっている。慣らし保育・行事の日程・感染症対応等については特に注力した説明に努めており、園運営への協力を依頼している。</p>
<p>Ⅲ－１－（２）－③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>卒園児の就学先が10校近くへのぼるため、近隣の小学校での体験、全校との面談など連携については特に注力に努めている。また配慮の必要な子どもの入園にあたっては、体験入園を実施するなど子どもと保護者が安心できるスキームを整えている。</p>
<p>Ⅲ－１－（３） 利用者満足の上昇に努めている。</p>		
<p>Ⅲ－１－（３）－① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>行事後には保護者にアンケートを実施しており、集計結果については掲示し、周知している。アンケート結果については職員会議で検討し、改善への参考としている。</p>
<p>Ⅲ－１－（４） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
<p>Ⅲ－１－（４）－① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p>	<p>a</p>	<p>苦情・相談マニュアルに基づいた対応を図っており、苦情受付担当者・苦情解決責任者・苦情解決第三者委員を設置するなど体制が構築されている。苦情解決の仕組みについても玄関に掲示し、周知を図っている。</p>
<p>Ⅲ－１－（４）－② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。</p>	<p>a</p>	<p>誰もが自由に意見を言えるようポストを設置している。また送迎時を中心にコミュニケーションを図り、直接何でも言える関係性の構築に努めている。</p>
<p>Ⅲ－１－（４）－③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	<p>a</p>	<p>保護者からの要望や意見については、職員会議での検討等園全体の課題として捉えるよう努めている。また他の利用者や職員を目を気にしないで相談できるよう別室を準備するなど配慮がなされている。</p>
<p>Ⅲ－１－（５） 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
<p>Ⅲ－１－（５）－① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p>	<p>a</p>	<p>定期での安全点検の実施により園内外の環境が保たれるよう取り組んでいる。ヒヤリハット報告書の集計と分析、ヒヤリハットマップの作成など子どもたちの安全を確保するため対策を講じている。ヒヤリハット報告書については、抽出機会の習慣化を課題として認識している。</p>
<p>Ⅲ－１－（５）－② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>保健だよりにより保護者に対しては注意喚起を呼び掛け、予防と蔓延防止に努めている。対処方法については、入園のしおりへ詳細に掲載し、周知を図っている。</p>
<p>Ⅲ－１－（５）－③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	<p>a</p>	<p>毎月の避難訓練については年間計画が立案されており、火災・地震・竜巻等を想定変えながら実施されている。午前・午後など時間設定を変更するなど全職員が適切な対応をとれるよう準備している。</p>

Ⅲ－２ 福祉サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ－２－（１）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	行政が策定したマニュアルを中心に独自のものを付け加えて業務の標準化を整備している。特に午睡チェック方法やヒヤリハット報告書などリスクマネジメントについては、各方面から情報を収集し、検討と分析の後定めるなど注力した取り組みがなされている。
Ⅲ－２－（１）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	自己評価シートの項目については年度ごとに見直しを図っている。今後は、自己評価シートと業務マニュアルとのリンクを検討しており、進行中の独自マニュアルの完成とあわせて実施が期待される。
Ⅲ－２－（２） 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ－２－（２）－① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a	入園時に保護者より提出された調書および健康と成長の記録は把握と保管がなされている。職員会議等での検討計画の進捗が確認されている。
Ⅲ－２－（２）－③ 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a	月間指導計画、日々の保育記録はすべて評価と反省が加えられている。次期へ繋げる意識と振り返りの習慣が園全体で意識されていることが理解できる。
Ⅲ－２－（３） 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	延長保育時の反省については翌日の勤務者に申し送りとして繋げるなど職員間の情報共有に努めている。クラス間の情報についても更なる共有が図られるよう今後はクラスミーティングの議事録を職員室内に掲示することを検討している。
Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	子どもおよび保護者についての情報や記録については、鍵のかかる書庫にて保管がなされている。取扱いについては細心の注意を払うよう繰り返し指導し、適切な管理に努めている。

評価対象Ⅳ 内容評価基準

A－１ 保育内容

	第三者評価結果	コメント
A－１－（１） 養護と教育の一体的展開		
A－１－（１）－① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育過程を編成している。	a	五領域のほか、社会的責任・地域の実態に対応した事業など独自の項目を盛り込み保育課程が策定されている。新年度を迎えるにあたって職員ミーティング時に説明し、全職員共通の意識として捉えるよう取り組んでいる。また、講師を招き英会話指導を行うなど教育的活動にも注力がなされている。
A－１－（２） 環境を通して行う保育、養護と養育の一体的展開		
A－１－（２）－① 生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。	a	温度・湿度チェック、空気清浄等により子どもたちが快適に過ごすための環境が提供されている。清掃については職員で分担がなされており、清潔・衛生が保持されている。
A－１－（２）－② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	ハンドブックには子どもを受容するための心構えについて具体的例示をもって記されており、日々の保育の中で指導にあたっている。職員間で助け合いながら適切な保育姿勢を堅持できるよう取り組んでいる。
A－１－（２）－③ 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。	a	年齢、発達・発育、子どもの特性に合わせて基本的な生活習慣を習得できるよう取り組んでいる。保護者との連絡を密にし、家庭と連携した取り組みとなるよう努めている。

<p>A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	<p>a</p>	<p>コーナー保育など子どもたちが設定の中で選択しながら遊び込むなど子どもたちの主体性を大事にした保育に注力している。今後は日中の活動の中でも職員が「工夫しながら・意識をもって」取り組むことが望まれており、アイデアを出しながら活動内容を検討していくことが期待される。</p>
<p>A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>子どもたちが園での生活に慣れ、落ち着いて過ごすことができるよう注力している。子どもたちとの触れ合いを大事にし、信頼関係を築きながら成長を見守るよう取り組んでいる。</p>
<p>A-1-(2)-⑥ 3歳児未満児（1・2歳児）の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>子どもたちの発達・発育の差を考慮しながら一人ひとりの成長のプロセスを大事にした保育の実施に努めている。同年齢においても月齢の差により柔軟な対応に取り組む機会を増やしていくことを目標としている。</p>
<p>A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>特に5歳児については、卒園と就学に向け子どもたちと都度確認しながら保育の進捗を図るよう取り組んでいる。対人関係を広げ、自立心が高まるよう指導に努めている。また専門家を講師に招き、歌や踊りなどの表現をカリキュラムとして導入し、子どもたちの表現する喜びを育てるよう取り組んでいる。</p>
<p>A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>加配職員の配置、療育機関・行政との連携をもって配慮の必要な子どもへの対応に取り組んでいる。コーナーガードの設置や物品の置き場所の変更等により安全な環境構築にも努めている。</p>
<p>A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>補食の提供・小まめな水分補給・健康状態への配慮等により長時間に渡る保育を実施している。生活リズムが整わない場合には休息をとるなど子どもたち一人ひとりに合わせた対応に努めている。</p>
<p>A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	<p>a</p>	<p>卒園予定児の就学先が約10校におよぶため、特に小学校との連携に注力している。保護者に対しても準備事項について周知し、スムーズな就学となるよう取り組んでいる。</p>
<p>A-1-(3) 健康管理</p>		
<p>A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。</p>	<p>a</p>	<p>嘱託医による健康診断の実施等連携により子どもたちの健康管理に取り組んでいる。また午睡時には年齢ごとに一定の間隔のチェックを実施し、乳幼児突然死症候群の防止にあたっている。職員自己評価表にも留意事項を盛り込むなど、子どもの安全を第一として運営に努めていることが理解できる。</p>
<p>A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。</p>	<p>a</p>	<p>定期による健康診断・歯科検診の結果については保護者に通知しており、併せて医師からの所見について説明している。</p>
<p>A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもに対し、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>アレルギー疾患をもつ子どもに対しては、医師の指示、栄養士および保護者の確認のもと除去食の提供等がなされている。食器とトレーの色、テーブルの設定、職員の配置等に配慮し、安全な食事提供にあたっている。</p>
<p>A-1-(4) 食事</p>		
<p>A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。</p>	<p>a</p>	<p>絵本のお話を献立に取り入れる「ものがたり給食」を実施するなど工夫とアイデアをもって取り組みがなされている。プランターでの野菜栽培、クッキング保育の実施など子どもたちが食に興味をもてるよう数々の取り組みがなされている。</p>

<p>A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食 べることのできる食事を提供している。</p>	<p>a</p>	<p>給食会議では、子どもたちの喫食状況や嗜好について話し合いがなされている。野菜のカット方法の変更、リクエストメニューの実施等々子どもたちが健やかに成長できるよう工夫した食事提供がなされている。</p>
---	----------	--

A-2 子育て支援

	第三者評価結果	コメント
<p>A-2-(1) 家庭との緊密な連携</p>		
<p>A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>日々の連絡帳でのやりとり、園だよりをはじめとする活動報告などを通して保護者との連携を図っている。また何より送迎時のコミュニケーションに注力し、顔と顔が見える中で関係性を構築するよう努めている。</p>
<p>A-2-(2) 保護者等の支援</p>		
<p>A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>保護者会において保護者が気軽に子育て相談ができる取り組みを始めており、好評であったことから今後も継続していく意向をもっている。保護者の就労や事情に鑑み、寄り添う支援の実践に努めている。</p>
<p>A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。</p>	<p>a</p>	<p>視診の実施等子どもや家庭の変化に気づけるよう職員に注意喚起を促している。発見した場合における関係機関との連携についても確認がなされている。</p>

A-3 保育の質の向上

	第三者評価結果	コメント
<p>A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）</p>		
<p>A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。</p>	<p>a</p>	<p>目標管理に基づく自己評価を実施しており、自己の保育の振り返りに留まらず、キャリアデザインに踏み込んだ取り組みがなされている。本評価に伴う職員自己評価においても高い職業意識を理解することができる。</p>